

これからの梨の栽培管理について（第8号）

令和7年10月3日
 なのはな農業協同組合
 富山県富山農林振興センター

本年は、春から黒星病の発生が少なかったものの、9月以降の降水量が多いため、秋型病斑葉（写真1）の発生が懸念されます。

秋型病斑葉は、翌春の重要な伝染源となることに加え、もうひとつの伝染源である芽基部病斑の発生も助長します。

つきましては、**来年の黒星病の発生を防止するため、秋季防除や落葉処理の徹底をお願いします。**



写真1 黒星病秋型病斑（薄墨色の黒い斑点）

1 これからの防除について

黒星病秋型病斑葉の発生防止のため、「あきづき」収穫終了後に20回目の防除を実施します。
 また、21～23回目は、来年の芽基部病斑発生防止のための重要な防除となります。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	散布量	主な対象病害	防除実施日
20	10月13日 (13:00以降) ～15日頃 (「あきづき」 収穫終了後)	オーソサイド 水和剤 80 1,000倍	3日 (72時間)	300 g/10a	黒星病	
10/13～15に防除できなかった場合は、農林振興センターへご相談ください！						
21	10月26～28日頃	ドキリンフロアブル 1,000倍	3日 (72時間)	300 g/10a	黒星病	
22	11月6～8日頃	ドキリンフロアブル 1,000倍	3日 (72時間)	300 g/10a	黒星病	
23	11月16～18日頃 80%落葉後	ドキリンフロアブル 1,000倍	3日 (72時間)	300 g/10a	黒星病	

【注意事項】

※ハマキムシ類、シンクイムシ類の発生が多い園地では、翌年への越冬虫密度の低下を図るため、20回目にサムコルフロアブル10（5,000倍、収穫前日まで、年3回以内）を混用してください。

※収穫前日数が3日の薬剤散布後は、3日間（72時間）は収穫できません。「新高」や「新興」等、周囲の収穫園にも十分気を配りましょう（万が一、散布後72時間以内に収穫してしまった場合は、果実を廃棄してください）。

2 落葉処理について ※必ず、確実に実施してください！！

黒星病秋型病斑が着いた落葉を放置すると、翌春、地表面から黒星病菌胞子が飛散し、幼果への病斑発生の危険性が高まります。特に、園地周囲や側溝、幹元に落葉が残らないよう十分注意してください。

（1）実施時期

11月中下旬（落葉後）～2月末（確実に処理を行うため、可能な限り年内に実施してください。）
 （うら面へ）

(2) 落葉処理の方法

- ①雑草が繁茂している場合は、落葉を処理しやすくするため事前に草刈りや除草剤散布を行う。
- ②松葉ほうき等でかき集め、園外に持ち出し適切に処分するか、下記③～④により機械処理する。
- ③園地周囲や側溝、幹元の落葉（写真2）は、松葉ほうき等で機械の走行路へ掻き出すか、園外に持ち出し適切に処分する。
- ④園地内部でモアやロータリー等で丁寧に葉を粉碎・すきこみを行う（機械の走行速度、処理時間は、下表を参考にしてください）。

園地周囲や側溝、幹元に落葉が残らないよう注意してください。



写真2 園地周囲や側溝、幹元の落葉

表 処理機械別の機械速度、処理時間（目安）

処理機械	機械速度、処理時間等
乗用モア	2回処理（1回につき10aを45分かける）
ロータリー	1km/h以下の速度で、10aを60分以上かける
乗用モアとロータリーの併用	・モア：10aを30分かける ・ロータリー：1.5～2km/hの速度で10aを45～60分かける

(3) 落葉処理の留意点

- ①落葉処理の未実施あるいは処理精度の低い園地は、近隣園地（他の生産者）にも被害を及ぼすので、産地全体での取り組みが重要です。
- ②処理精度が低いと効果が半減します。機械による粉碎や耕起は、葉の形が残らないよう十分に行ってください。処理精度の確認を希望される方は、農林振興センターへご連絡ください。
- ③チップパー等で粉碎したせん定枝を園内に放置しても、黒星病の発生には影響しないとされています。ただし、粉碎後に落葉と一緒にロータリー等で耕起し、すき込むと土壌性病害（白紋羽病）の発生を助長させるので、注意してください。

◎本年も、下記のとおり病虫害対策研修会を開催します。ぜひ、ご参加ください！

＜日 時＞ 令和7年10月18日（土）

第1部 13:00～14:30（追分・吉作・東老田・中老田地区生産者対象）

第2部 15:00～16:30（住吉・花ノ木・南部・射水地区生産者対象）

※第1部、2部とも同様の内容です。

＜場 所＞ 多目的研修梨会館

＜内 容＞ ①本年度の黒星病およびカイガラムシ類の発生状況と次年度対策について

②ハダニ類の発生生態と先進的な対策事例について

＜お問合せ先＞ 富山農林振興センター・濱谷 TEL 444-4523